

新病院の建設について

東濃中部（瑞浪市・土岐市）における、今後の医療提供体制（医師確保や救急医療など）の安定確保に向けて、平成28年4月から「地域医療構想における東濃中部の医療を考える研究会」で、また、平成29年9月からは「東濃中部の医療提供体制検討会」で検討がなされてきました。

この中で、

- 東濃中部では約400床程度の急性期・回復期病床数が適当で、病床の整理が必要である
- 整理の方法は1病院化が最も適当である

といった具体的な方向性が確認され、

- 新病院の建設位置は中間地点を基本とする
- 経営手法は公設民営とする

ことなどについて、意思統一が図られています。

瑞浪市議会では、医療提供体制の安定確保について審議する「土岐市及び瑞浪市医療提供体制審議会」を共同設置する規約を本年9月議会で可決しており、今後、新病院の建設候補地の選定などの審議が始まります。

これまでの経緯 [市ホームページ「東濃中部\(瑞浪市・土岐市\)の医療体制」より抜粋](#)

平成28年4月～7月 ○地域医療構想における東濃中部の医療を考える研究会（全3回）
目 的：地域医療構想における東濃中部（土岐市及び瑞浪市）の適正な医療提供体制について考える
構成員：土岐市副市長、瑞浪市副市長、JA岐阜厚生連理事長、
県健康福祉部次長、土岐医師会長

平成28年5月～11月 土岐市病院事業改革プラン策定委員会（全4回）

平成28年7月 ○「地域医療構想における東濃中部の医療について検討報告書」策定

平成28年7月 岐阜県地域医療構想 策定

平成29年3月 土岐市病院事業新公立病院改革プラン 策定

JA岐阜厚生連の呼びかけにより、土岐市、瑞浪市、JA岐阜厚生連による
東濃中部の医療提供体制検討会を実施

平成29年9月～
令和2年3月 ○東濃中部の医療提供体制検討会（全9回）
目 的：岐阜県地域医療構想を踏まえ、土岐市立総合病院と東濃厚生病院に
よる東濃中部の医療提供体制の今後について、具体的な方向性を検討
すること

構成員：
土岐市（副市長、総務部長、市民部長、土岐市立総合病院長、同事務局長）
瑞浪市（副市長、総務部長、民生部長）
JA岐阜厚生連（理事長、常務理事、東濃厚生病院長、同事務局長）

平成30年2月 東濃中部の医療提供体制検討会検討結果報告書 策定

令和 2年7月 病院事業一部事務組合設立準備会 立ち上げ
目 的：新病院の設置主体となる公的機関「（仮称）土岐市・瑞浪市病院事業
一部事務組合」の設立に必要な事項を協議する

令和 2年10月 土岐市及び瑞浪市医療提供体制審議会 設置

議会での議論

令和2年9月定例会

請願第2号 東濃厚生病院の存続と充実を求める請願書について

10名の市民から提出された請願書を審議し、採決の結果不採択とすることに決しました。

東濃厚生病院の存続と拡充を 求める請願書

「(中略)「1病院化」で、土岐市内に新病院が作られるとなると、瑞浪市内には総合的な医療を受けられる病院が無くなります。(中略)

経済の低迷と高齢化など、新病院の建設には膨大な公費を要します。後世の市民には大きな負担がのしかかります。

私たちは「新型コロナウイルス感染」の不安が増大する中、東濃厚生病院の存続と充実を強く求めます。

(請願事項)

- 1 多くの市民が願う総合的医療機能をもつ東濃厚生病院を、今のままで存続させるように関係各方面にはたつきかけて下さい。」

賛成討論

- 県下唯一公的病院の無い市となり、人口のさらなる減少につながる。
- 新病院建設の財源確保のために巨額な市債発行が必要になり、将来世代の負担が増える恐れがある。
- 本市には病院経営のノウハウがなく、土岐市任せの運営になってしまう恐れがある。

反対討論

- 病院の再編・統合の理由は、医師不足などによる医療提供体制の弱体化にあり、持続的に適切な医療を受けられる体制づくりには医療資源の効率的な活用が必要である。
- 1病院化により医療資源・人材の集約化を進めることで、市民にとって必要十分な医療提供体制の確保につながる。
- 両病院が疲弊し、東濃中部の医療提供体制が崩壊してしまう前に、1病院化を推進し、持続可能な地域医療体制を確保することが重要である。